

NEWS RELEASE

2026年3月26日
株式会社電通ライブ

「活きた場を都市・まちに同期する」 ソフト視点で都市・まちの課題を解決する、新たな場づくりのアプローチ 「LIVE□SYNC」(ライブ・スペース・シンク) を始動

株式会社電通ライブ(本社:東京都港区、代表取締役社長執行役員:中邨正人、以下「電通ライブ」)は、都市・まちづくりの上流工程である構想段階から参画し、ソフト視点による課題解決を支援するプロフェッショナルチーム「LIVE□SYNC(ライブ・スペース・シンク)」を始動します。



近年、価値観の多様化により、都市や施設・空間にはこれまで以上に幅広い活用法が求められています。単に空間を設計するだけでなく、ソフト面を意識し、“いかに人の気持ちを動かす場となるか”を構想段階から丁寧に描き込むことが不可欠です。

電通ライブは「感動づくり」を核に、“人の気持ちを動かす”体験をつくり出してきた会社です。国内屈指の多彩な体験創出を通じて磨き上げてきた企画力・実行力・専門性を武器に、活動領域はイベントやスペース開発にとどまらず、さらに広がり続けています。

このたび始動する「LIVE□SYNC」は、こうした電通ライブの強みであるソフト視点とプランニング力を結集し、人々の心を動かす価値づくりを軸に、都市やまちの可能性を最大化するコンサルティングサービスを提供していく取り組みです。



OUR MISSION □ 私たちの役割

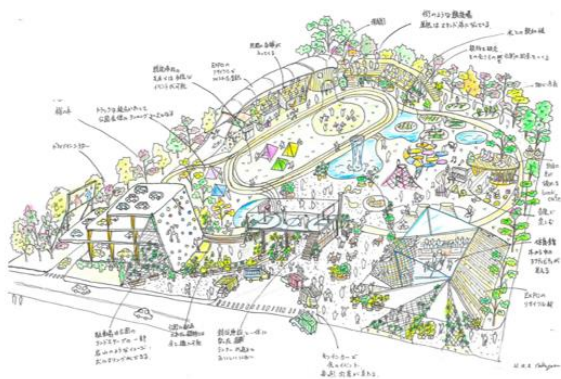
「Sync the LIVE, Think the City」

- 都市・まちを思考し、活きた場を同期する -

私たちはこれまで、イベント事業を通じて都市やまちを「にぎわいの場=活きた場」に変えてきました。その“活きた場を創造するノウハウ”に、感性や社会的リサーチを掛け合わせることで、都市・まちづくりの開発プロセスに新しい視点をもたらします。

人々の営みが生み出す「LIVE（活きた場）」と、都市・まち全体の価値を「SYNC（同期）」させる――。

私たちは、にぎわいの質を高め、場が持つ可能性を最大化するソリューションを提供していきます。

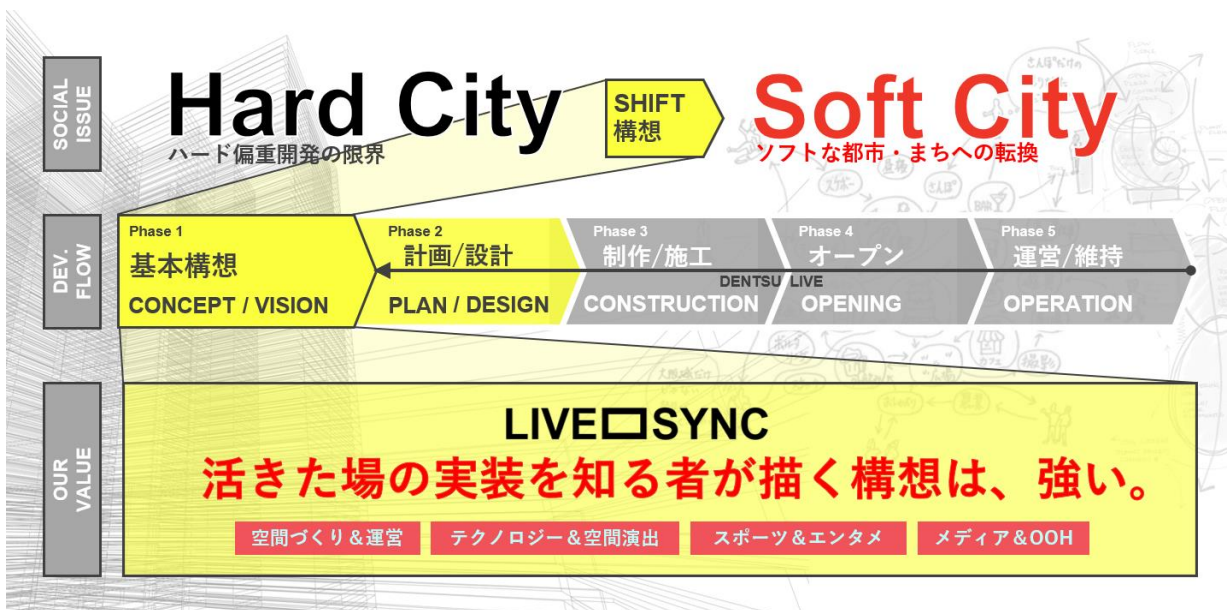


「Sync the LIVE,
Think the City」
都市・まちを**思考**し、
活きた場を**同期**する

OUR VALUE □ 提供価値

活きた場の実装を知る者が描く構想は、強い。

LIVE□SYNC は、開発の上流である構想段階から参画し、都市・まちづくりをサポートします。ソフト実装に精通したプロフェッショナルならではの視点を初期段階に注ぎ込むことで、机上の空論に陥ることなく、人が集い、持続的に価値を生み出す「活きた場」の実現を可能にします。



課題解決に導く3つの特徴

1. 「□ (Space Box)」：あらゆる“課題”を受け入れる器

LIVE□SYNCの「□」は、都市やまち、クライアントが抱える多種多様な“課題”を受け止めるボックスを象徴しています。

私たちはこの「□」にあらゆる課題を受け入れ、整理・可視化し、解決につなげます。

2. 「LIVE (活きた場)」：実現するためのソフト実装分野

活きた場を実現するため、電通ライブが特に強みを持つソフト実装分野を明確に定義しています。

- ・空間づくり&運営：運営＝使い手の視点を設計に反映し、継続的に使われる場へ。
- ・テクノロジー&空間演出：最先端テクノロジーを活用し、都市体験を拡張。
- ・スポーツ&エンタメ：集客拠点の創出を通じて、地域経済の活性化に貢献。
- ・メディア&OOH：収益性と利用者拡大を見据えたメディア計画を、運営視点まで含め提案。

3. 思考機能：都市・まちをシンク (THINK) する

LIVE□SYNCには、分析機能「Analysis」と研究機能「Study」という2つの思考機能があります。この両輪および「[情動 LABO](#)」との連携により、表面的な発想でなく、本質的価値に基づく構想づくりを実現します。

- ・Analysis：場所の深層分析
個々のプロジェクトを多角的に分析し、必然性のあるコンセプトや戦略などを導出。
- ・Study：社会と変数の研究
研究機関や専門家と連携し、社会課題という「問い」に向き合い、新たな「解」の種を蓄積。



電通ライブは、これまでに蓄積してきた豊富なソフト視点とプランニング力をさらに磨き上げ、「都市・施設開発」や「まちづくり」の領域においても、人々が“行きたくなる・集まりたくなる・関わりたくなる”場づくりを実現し、社会の活性化に貢献してまいります。

以上

「AI時代に、人の気持ちを動かす体験で、未来の原動力をつくる」

電通ライブはイベント・スペース事業を中核に、リアル体験によるビジネス貢献と、社会全体に中長期的な価値を生み出していきます。

【本案件に関するお問い合わせ先】

LIVE□SYNC

LIVE SPACE SYNC（ライブ・スペース・シンク） 担当者：大高・若山・藤野

※下記の広報アドレスまでお問い合わせください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通ライブ 広報 三島・佐藤 kouhou@dentsulive.co.jp

<https://www.dentsulive.co.jp/>